2019年度(令和元年度)「自ら考え学ぶ授業づくり」アクションプラン

<学校用>

校番(34)番 福山市立 神辺中 学校

1 育成する力(21世紀型“スキル&倫理観”)

育成する21世紀型“スキル&倫理観”	コミュニケーション	思いやり・感謝	自己コントロール
めざす子ども像 (21世紀型“スキル&倫理観”を身に付けた生徒の姿)	レベル1:他者の意見を聴き、自分の考えを伝えることができる。 レベル2:他者の意見の相違を受け止め尊重することができ、協力・協同して参画できる。 レベル3:意見の相違に対して提案を示すなどして合意形成し、積極的に社会(集団)を形成することができる。 レベル4:自己の対人関係や社会(集団)とのかかわりに対する振り返りができ、適切に改善できる。	レベル1:自分や他者を大切に思うことができ、親切にし、いたわり、励まし、助け合い、協力し合うことができる。 レベル2:多くの善意や支えに気づき、社会(集団)や自然の恵みに対して「ありがたい」と感じるができる。 レベル3:他者や社会(集団)に対して、自分ができていることを考え貢献できる。 レベル4:他者や社会(集団)に対する自己の在り方を振り返り、適切に改善できる。	レベル1:感情や行動を律し、ルールやマナーを守ることができる。 レベル2:時と場に応じた適切な言動を選択し、成長のために進んで学ぶことができる。 レベル3:何事においても、目標設定ができ、自己の可能性を信じて主体的に挑戦することができる。 レベル4:自己の言動に対する振り返りができ、適切に改善できる。

2 授業の現状

- 教師が対話の場面を設定することで、生徒同士で自分の考えを伝え合う機会が増えた。
- 生徒が安心して「分かりません」と言い、積極的に自分の考えを伝え合うことに課題があるため、継続して子ども主体の授業を改善に取り組む。

転換

3 めざす授業の姿

- 自ら考え、主体的・協同的に学ぶ生徒
学びたい、知りたいといった知的好奇心や関心・意欲を持ち、他者と関わり合い、教え合い、話し合いの中で学びが深化する。

4 めざす授業に向けた取組の具体

4月からの取組	8月末の状況	9月からの取組	12月末の状況	1月からの取組	2月末の状況
○生徒全員を主体的な学びに向かわせるための、対話の場面の及び発問の工夫を行う。 ○対話のある授業の実践の中で、生徒一人一人の学びの姿に目を向け、検証と改善を行う。	○対話の場面を工夫し、生徒の対話の中身に目を向けて授業づくりを行っている。 ○生徒が自分で決める・選択することで、主体性を引き出す工夫をしている。	○「分かりません」「なぜ」から始まる授業づくり。 ○生徒どうしの対話を通して、課題を解決する。 ○生徒が視点に沿った振り返りをする。	○対話を通して課題を解決するために、生徒が予想したり、既習事項を用いたり工夫をしている。 ○生徒が思考を深めた実感が教師に乏しく、生徒一人一人の学びの姿に目を向けることが引き続き必要である。	○生徒一人一人の学びに応じた声かけ・関わりを工夫し、生徒の主体的学びを引き出す。 ○教師が互いの授業を見て、生徒の学びの姿を交流し授業改善を図る。	○生徒の主体的な学びを引き出すために声かけ・関わりを工夫している。教師が互いの授業を見て、一人ひとり異なる学びの姿に目を向けている。 ○目を向ける対象を広げ、学習状況に応じた声かけ・関わりが必要である。

5 取組の結果等

数値は2019年(R元年)調査等の状況

全国学力・学習状況調査(%) <児童生徒質問紙調査>(%) (肯定的評価)

国語	68(-6)	自分にはよいところがある	83.4
算数(数学)	51(-9)	先生はよいところを認めてくれる	84.7
英語	52(-4)	将来の夢や目標を持っている	64.0
		人の役に立つ人間になりたい	92.6

()は県平均との差

「基礎・基本」定着状況調査 <児童生徒質問紙調査>(%) (肯定的評価)

学校へ行くのは楽しい	80.7
「やりなさい」と言われなくても、自分から進んで勉強をしている	50.3
授業では、課題について、「なぜだろう」「やってみよう」と思う	54.5
授業では、友だちと話し合うなどし、考えを深めたり広げたりしている	67.6

暴力行為発生率・不登校児童出現率 (%) (3)月末現在

暴力行為	3.1	不登校	4.6
------	-----	-----	-----

体力づくり改善計画【広島県体力・運動能力調査から】

県平均以上項目数	前回目標値に対する結果	重点課題	改善する取組内容・方法
(男子) 10/24	男子は4項目県平均を上回ることができたが、女子は1項目下回ってしまった。	反復横跳びでは、全学年男女ともに、全国・県平均ともに下回った。特定の項目ではなく、全体的に体力値が低いことが課題である。	体育の時間だけでなく、教育活動全体を通して、体力向上に努めていく。また、生徒の意欲喚起を促すよう取り組んでいく。
(女子) 11/24			
目標値	県平均以上の項目数を男女とも15以上にする。		

福山100NEN教育アンケート[対象:授業者](%)

質問項目	当てはまる	当てはまらない
仕事にやりがいを感じている	73.9	26.1
仕事に充実感がある	58.3	41.7

児童生徒アンケート(%)

(2)月実施

質問項目	当てはまる	当てはまらない
授業で考えることが面白い	71.0	29.0
自分の考えは、認められている	72.7	27.3